



教育相談だより

平成30年9月発行
勝浦市立勝浦小学校
教育相談部

子どもたちは心身の成長にともない、さまざまな不安や悩みを抱えるようになります。
学校では子どもたちのサインにいち早く気づき、サポートできるよう次のような支援を行っています。

<児童による生活アンケートの実施>

毎月、児童による「生活アンケート」や年2回の「Q1調査」などを実施し、実施後は担任による全員面接により、一人一人の心配事に早期対応を行っています。

<相談ポストの活用>

2階の相談室前に「相談ポスト」が設置されています。各階に相談用紙があり、相談内容と相談したい職員を記入し、ポストに投函することでだれでも活用できます。

相談内容についてはしっかり耳を傾け、相談者に応じた対応を心がけています。

<スクールカウンセラーによる全員面接>

昨年度より、5年生全員を対象にスクールカウンセラーによる全員面接を実施しています。

今年度は4、5年生全員を対象に実施しています。

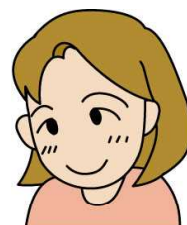
思春期に入ると、子どもたちは悩みを口にしないことが多くなります。教職員以外の専門家による相談機会を設けることで、子どもたちのサインの早期発見を行っています。

スクールカウンセラー(末吉 優子先生)の来校日

9月7日、28日 10月12日、26日 11月9日、30日 12月14日

~お子さんの話をどのように聞いていますか?~

「聞いているよ」というメッセージを言葉や態度にこめて聞くことで、安心して話することができます。



困難に直面した時、子どもたちは悩みを人に話していく中で、自分の気持ちを整理し、解決に向かって動き出すこともあります。

ちゃんと話を
聞いてくれて
うれしいな。



あなたの話をもっと聞きたいな・・・。

《態度》

- ①まず、自分のしていることをやめる。
- ②相手の顔を見る。
- ③最後まで聞く。

《言葉》

- ①あいづちをうつ。
「なるほど」「そうなんだ」「わかるよ」
「へー」「それはすごいね」
- ②相手の言葉をくりかえす。
「いやだ!」⇒「いやだったんだね」
「うれしかったよ」⇒「うれしかったんだ」
- ③質問する。
「それからどうしたの?」
「どのようにしたの?」